

「女性のレッドアクション」とやま実行委員会」は17日、富山市のCIC前広場で戦争法の廃止を求めるスタンディングアピールに取り組みました。赤い物を身に着けた女性ら40人余が参加。「戦争法廃止」「こわすな憲法9条」などのポスターを掲げ、「憲法を守る政治をつくらう」「市民の力で政治を変えよう」などとコールしました。

参加者全員が一言ずつ発言。「九州で大地震が起きていのに、川内原発を止めよう」としない政府はおかしい。「安倍首相は、いままでの自民党の首相とは違うヒトラーのような人。必ず安倍政権をやめさせよう」「野党は共闘して参院選がんばるぞ」など、それぞれの思いを話しました。

「戦争法制に黙っとられん会富山」の代表で「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるオールとやま県民連合」世話人の道用悦子さんも、戦争法廃止へ全力をあげる決意をのべました。

石川・小松

石川県小松市で戦争法廃止と航空自衛隊のアクレツサー（飛行教導群）部隊配備反対を訴える集会が16日、小松市役所前広場で開かれました。平和フォーラム北信越ブロック連絡会議のよびかけで開催され、400人が参加しました。

音と危険にさらされている。軍事基地はいらない」と訴えました。集会後のデモ行進では「戦争法廃止」「安倍内閣退陣」と書いたパネルを掲げ「アクレツサー配備反対」「戦争法廃止」「安倍政権は退陣」とコールしながら小松駅まで約30分間行進しました。コースのあちこちで市民が出てきて激励する場面がありました。

アグレツサー 小松配備反対

市役所前で集会

富山からは、自治労、県教組、全港湾、全農、佐幸、委員、長、弁、言、あ、い、さ、つ

航空自衛隊新田原基地（富山県）の訓練支援部隊「飛行教導群（アグレツサー部隊）」が六月上旬に小松



小松基地への部隊移転配備に反対の声を上げるデモ参加者
石川県小松市役所前

基地に移転配備されることに反対する集会が十六日、小松市役所前で開かれた。北陸三県と新潟、長野両

県で行く「平和フォーラム北信越ブロック連絡会議」が主催。五県から計十二団体、四百人（主催者発表）が参加し、部隊配備反対のほか、三月二十九日に施行された安全保障関連法の廃止などを訴えた。

小松基地爆音訴訟連絡会の長田孝志代表は「小松基地の機能が着々と拡大されている。戦争をなくすために頑張らなければならぬ」と参加団体に協力を呼び掛けた。集会後、会場の市役所前からJR小松駅前までデモ行進もした。

（太田博察）



22(金) 評議会 16時 自治労会館 3F大ホ-1L

26(水) 勤労連幹事会 18時30分 自治労会館 305

27(木) 平和F総会 (東京) AA米田植 10時 習川藤井さん